

## DNAdvance 追加プロトコル Oragene® Dx OGD-600 保存だ液からの DNA 抽出



本追加プロトコルは簡易版です。使用前には、正式な製品マニュアルと Supplemental Protocol (英文)を必ずご一読ください。

### Material Supplied by the User

2 mL 96 ウェルプレート

例: Beckman Coulter, 609681

V&P Scientific 7 Bar Magnet for 96-Well Plate, 771MWZM-1ALT

DNA Genotek Oragene Dx OGD-600

### 試薬

70%エタノール (ヌクレアーゼフリー水で用時調製)

ヌクレアーゼフリー水



## Purification Procedure

### 1. サンプル調製

- a. 保存チューブキットの指示通りにだ液を採取し、保存してください。

### 2. 細胞溶解

- a. 50°Cで1時間静置します。
- b. サンプル 500  $\mu$ L を 2 mL 96 ウェルプレートに移す。

### 3. 結合

- a. Pre-Bind PBBA 200  $\mu$ L を加えます。
- b. ピペティング 10 回により混合します。
- c. Bind BBE のボトルをボルテックスし、磁性ビーズを完全に懸濁します。
- d. Bind BBE 340  $\mu$ L を加えます。
- e. ピペティング 10 回により混合します。
- f. 室温で1分間静置します。
- g. 反応プレートが磁気プレート上で8分間静置し、溶液中の磁性ビーズを分離します。
- h. 反応プレートを磁気プレート上に置いたままで、上清を除去します。
- i. 反応プレートを磁気プレートから下ろします。

### 4. 70%エタノール洗浄

- a. 70%エタノール 700  $\mu$ L を加えます。
- b. ピペティング 20 回により混合します。
- c. 反応プレートを磁気プレート上で2分間静置し、溶液中の磁性ビーズを分離します。
- d. 反応プレートを磁気プレート上に置いたままで、上清を除去します。
- e. 反応プレートを磁気プレートから下ろします。
- f. 4.a~4.e のステップを2回繰り返し行い、合計3回の70%エタノール洗浄を行います。

### 5. 溶出

- a. Elution EBA 50  $\mu$ L を加えます。
- b. ピペティング 10 回により混合します。
- c. 反応プレートを磁気プレート上で3分間静置し、溶液中の磁性ビーズを分離します。
- d. 溶出 DNA を含む上清を、新しい保存用プレートに移します

## Example Data

健康な供与者 82 名から採取し、Oragen Dx OGD-600 を用いて保存した液からゲノム DNA を抽出しました。DNA 収量は NanoDrop (Thermo Fisher Scientific) で測定され、収量は 0.9  $\mu$ g から 24  $\mu$ g に分布し、平均は 8  $\mu$ g でした (Figure 1)。A260/A280 の平均は 1.7 でした (Data not shown)。

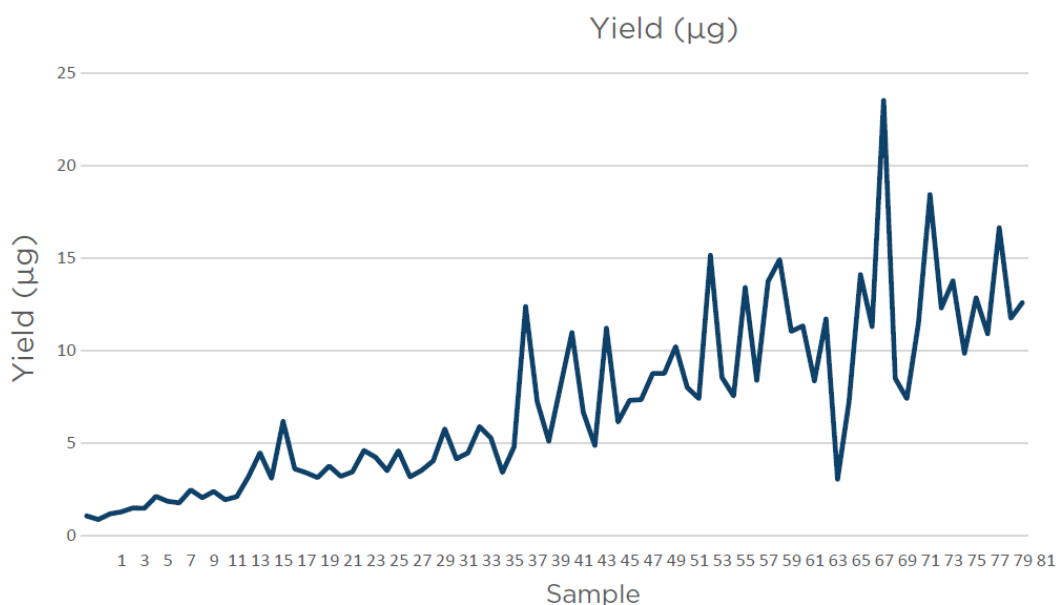


Figure 1. The variable DNA yields collected from 82 donors as assessed on a NanoDrop (ThermoFisher Scientific).



210217\_SP-JP\_DNAdvance\_OrageneSativaDNA

## ベックマン・コールター株式会社

本社：〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー

お客様専用 ☎ 0120-566-730 ☎ 03-6745-4704 ☎ 03-5530-2460  
✉ bckkcas@beckman.com URL <http://www.beckmancoulter.co.jp>

